

スウェーデンからのパネリストをむかえ  
シンポジウムを開催します！

\*\*\*\*\*

2009 年度 立教大学 Eco OPERA 事業  
「学校教育に野外教育を」～スウェーデンの自然学校事情を知る

\*\*\*\*\*



【日 時】 2010 年 3 月 22 日（月・祝日） 13 時 30 分～15 時 30 分 シンポジウム  
15 時 45 分～17 時 30 分 意見交換会  
（ ～18 時 30 分 交流会 ）

（意見交換会后、交流会とスライドショーを催します、お時間ございましたらぜひご参加ください。）

【会 場】 財団法人キープ協会内 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター  
（〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 tel : 0551-48-2900）

【参加費無料】 上記 ふれあいセンターに TELにてご予約ください。

【主 催】 立教大学

【共 催】 立教大学ESD研究センター、財団法人キープ協会、  
持続可能なスウェーデン協会、スウェーデン自然学校協会

【趣 旨】 スウェーデン自然学校協会の教育者たちの来日に合わせて、野外教育を学校教育にすでに組み込んでいるスウェーデンの自然学校事情を共有するためのシンポジウムを開催します。

パネリストには、スウェーデンの自然学校の先生 4 名、スウェーデンでESDコーディネーターを務めるカッラ氏、ナチュラル・ステップ・インターナショナル日本支部代表でスウェーデン在住 20 年以上の高見幸子氏を迎え、日本サイドの自然学校事情の代弁者として、財団法人キープ協会にて自然学校活動を 25 年実施している川嶋直がコーディネイトいたします。

【パネリスト】

- Ms Barbro Kalla バルブロ・カッラ（ウーメオ（Umeå）、スウェーデン、持続可能なスウェーデン協会）
- Mr. Mats Wejdmark マツ・ウェイドマルク（ニーネスハムン（Nynäshamn）自然学校）
- Mr Robert Lättman ローベルト・レットマン（ニーネスハムン（Nynäshamn）自然学校）
- Mrs Iréne Bergman イレーン・ベリユマン（ハルムスタド（Halmstad）自然学校）
- Mrs Mia Bucht ミア・ブッシュト（ファール（Falun）自然学校）
- 高見幸子（スウェーデン野外生活推進協会理事）



【コーディネーター】

- 川嶋直（財団法人キープ協会・立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科特任教授）

【通 訳】

- Ms Lena Lindahl レーナ・リンダル（日本在住）持続可能なスウェーデン協会、日本代表

\*\*\*\*\*

# スウェーデンからのパネリストをむかえ シンポジウムを開催します！

## 報告

13:30 シンポジウム開催

13:40 野外活動（野外で学ぶ）

…室内ではなく野外で学ぶことで、五感が刺激されよりよい学びができる。また自然に対する興味が生まれ自然環境に関心を持つようになる。

…野外で学ぶことは室内での学習の補足。野外だけでなく、野外活動で得たものを室内でふりかえり、学習を深める。野外から帰ってきたとき、その時間をふりかえることで学習が身につく。

数学 1つ自然のものを拾ってくる → 大きい(太い・古い)順に並ぶ  
どっちが大きいか・太いか・古いかという概念を数学的に学ぶことができる。

国語 カードに書かれた形容詞(丸い・湿った、など)に沿ったものを、グループの5~6人で自然物を拾ってくる → そのものを使って指令を実施する。(拾ってきたもので物語を作りなさい。拾ってきたものの反対の物を考えなさい。など)

### コミュニケーション

自分の首の後ろにカードを付け、他人からそのカードに写っているものについてのヒントを1つずつ集め、何のカードかを当てる。 → カードのものがわかったら、それが「食べるもの」、それを「食べてしまうもの」のカードを持っている人をさがす。

### 室内へ移動

15:10 休憩

15:20 スウェーデンの学校教育制度の紹介【Ms Barbro Kalla バルブロ・カッラ】

スウェーデンでは、小さな子どもがいる女性のほとんどが働いているため、1~5歳の小学校に入る前の子どもたちのためのプレスクールがある。幼稚園にも教育指導目的の学校指導要領がある。

義務教育になるのは、7~16歳の小中学校であり、そのうち90%が公立の学校である。大学になると全て国立以外の学校である。またスウェーデンでは入学試験はなく、学校の成績で入学できるかが決まり、高等学校への入学率は90%以上。

ちなみに、スウェーデンでは全ての学校の学費は無料。

「学校法」、国の定めた「学習指導要領」、「教育課程」、各高等学校には「教育目標」というものがあり、教育者はそれに従う。

現在スウェーデンでは義務教育の教育課程・の改定を行っており、教育全体が宙に浮いているような状態にある。

17:20 交流会(意見交換会)

18:00 もりのようちえんスライドショー

18:30 終了